

# iFreeActive メディカルデバイス

## 運用報告書(全体版) 第6期

(決算日 2024年10月18日)  
(作成対象期間 2023年10月19日~2024年10月18日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2018年10月19日~2028年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要 投資対象	ベビーファンド	メディカルデバイス・マザーファンドの受益証券	
	メディカルデバイス・マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入率 比	株式先物率 比	純資産額 総
	(分配落)	税込 分配金	期騰落 中率			
	円	円	%	%	%	百万円
2 期末 (2020年10月19日)	14,546	0	32.2	99.6	—	203
3 期末 (2021年10月18日)	18,877	0	29.8	99.3	—	335
4 期末 (2022年10月18日)	16,641	0	△ 11.8	95.5	—	179
5 期末 (2023年10月18日)	15,011	0	△ 9.8	98.6	—	144
6 期末 (2024年10月18日)	18,944	0	26.2	99.2	—	149

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

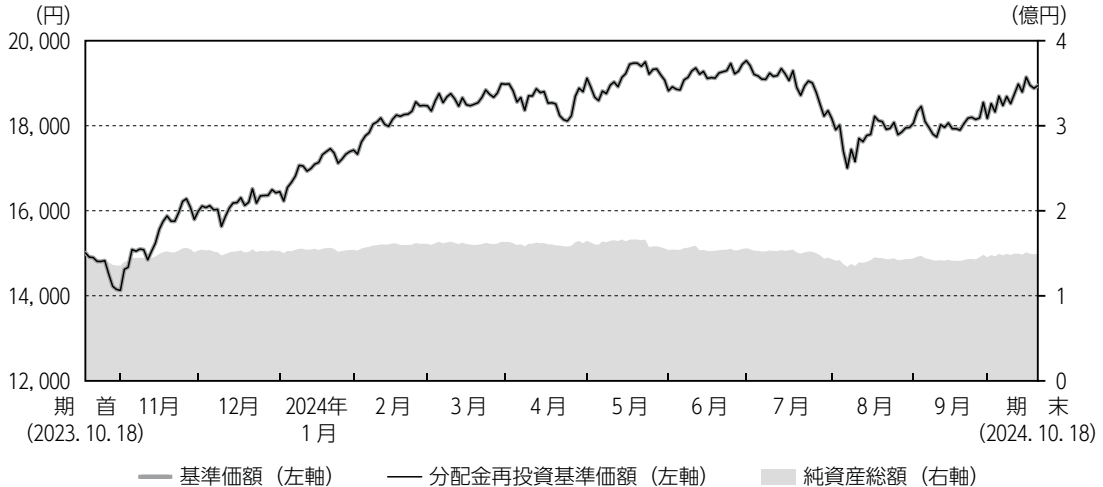
(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：15,011円

期末：18,944円（分配金0円）

騰落率：26.2%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業に投資をした結果、株式市況が上昇したことや、対円為替相場が上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## iFreeActive メディカルデバイス

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
	騰 落 率			
(期 首) 2023年10月18日	円 15,011	% —	% 98.6	% —
10月末	14,128	△ 5.9	97.9	—
11月末	15,984	6.5	98.9	—
12月末	16,451	9.6	99.5	—
2024年1月末	17,427	16.1	99.4	—
2月末	18,470	23.0	99.4	—
3月末	18,977	26.4	99.1	—
4月末	19,116	27.3	99.2	—
5月末	18,823	25.4	98.8	—
6月末	19,530	30.1	99.0	—
7月末	18,176	21.1	97.3	—
8月末	18,061	20.3	99.1	—
9月末	18,176	21.1	98.6	—
(期 末) 2024年10月18日	18,944	26.2	99.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2023. 10. 19 ~ 2024. 10. 18)

### ■世界株式市況

世界株式市況は、おおむね上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率が予想以上に低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来の利下げについての議論を始めたことを受け、利下げ期待が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年に入ってから、製造業の景況感が改善したことやA I（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、続伸しました。4月に入ると、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことから上昇基調となり、高成長が期待されるA I関連企業の株価急騰が相場をけん引し、高値を更新しました。しかし7月中旬に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するF R B議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にF R Bが0.50%ポイントの利下げを決定したことなども好感され、上昇して当作成期末を迎えました。

### ■為替相場

対円為替相場は上昇しました。

投資対象通貨の対円為替相場は、当作成期首より、米国金利の上昇を背景に緩やかな円安基調となりましたが、2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受け、下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安に転じ、2月に入っても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから、円安基調となりました。その後も、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。7月以降は、日銀が金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調が継続しました。9月半ば以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げのペースがゆっくりしたものになるとの見方から、投資対象通貨は対円で上昇し、当作成期末を迎えました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

### ■メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

## ポートフォリオについて

(2023. 10. 19 ~ 2024. 10. 18)

### ■当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしました。

### ■メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、BOSTON SCIENTIFIC CORP (米国)、DANAHER CORP (米国)、INTUITIVE SURGICAL INC (米国)などを組入上位としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が少額であったため、収益分配を行いませんでした。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2023年10月19日 ～2024年10月18日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	8,943

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

### メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 10. 19~2024. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	218円	1. 221%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は17, 869円です。
(投 信 会 社)	(106)	(0. 594)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(106)	(0. 594)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	7	0. 040	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(7)	(0. 040)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 002	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 002)	
そ の 他 費 用	49	0. 272	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(47)	(0. 263)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	274	1. 534	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

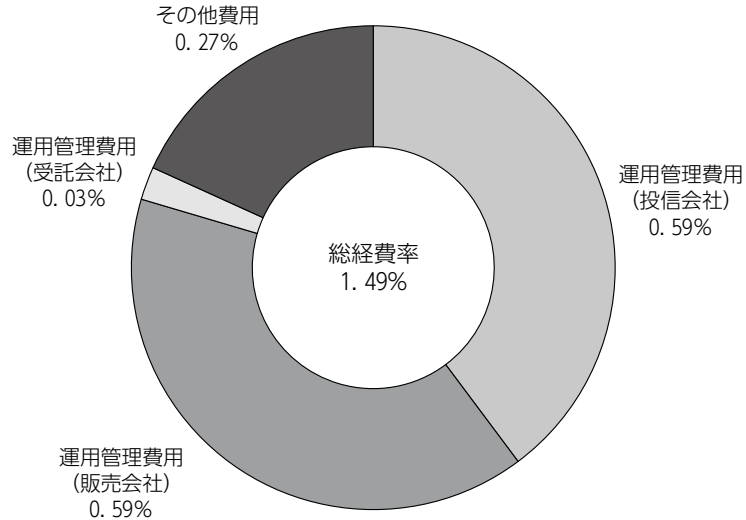
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.49%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2023年10月19日から2024年10月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メディカルデバイス・マザーファンド	7,921	15,400	24,922	48,200

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年10月19日から2024年10月18日まで)

項 目	当 期
	メディカルデバイス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	109,035千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	150,526千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.72

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

## (1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## (2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2023年10月19日から2024年10月18日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等			売付額等		
区 分	A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	38	1	2.8	70	—	—
為替予約	19	—	—	53	—	—
コール・ローン	89	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

## (3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2023年10月19日から2024年10月18日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	61千円
うち利害関係人への支払額 (B)	1千円
(B) / (A)	2.3%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

## ■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取 引 の 理 由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表  
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メディカルデバイス・マザーファンド	90,137	73,136	149,154

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
メディカルデバイス・マザーファンド	149,154 千円	99.2 %
コール・ローン等、その他	1,275	0.8
投資信託財産総額	150,430	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=150.13円、1オーストラリア・ドル=100.56円、1イギリス・ポンド=195.39円、1スイス・フラン=173.28円、1スウェーデン・クローネ=14.24円、1オフショア・人民元=21.033円、1ユーロ=162.61円です。

(注3) メディカルデバイス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(142,811千円)の投資信託財産総額(149,156千円)に対する比率は、95.7%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A)資産</b>	<b>150,430,062円</b>
コール・ローン等	1,275,117
メディカルデバイス・マザーファンド(評価額)	149,154,945
<b>(B)負債</b>	<b>930,112</b>
未払解約金	3,397
未払信託報酬	922,654
その他未払費用	4,061
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>149,499,950</b>
元本	78,917,738
次期繰越損益金	70,582,212
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>78,917,738口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	18,944円

\*期首における元本額は96,064,930円、当作成期間中における追加設定元本額は14,272,677円、同解約元本額は31,419,869円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は18,944円です。

## ■損益の状況

当期 自2023年10月19日 至2024年10月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>583円</b>
受取利息	596
支払利息	△ 13
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>29,284,858</b>
売買益	37,339,879
売買損	△ 8,055,021
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>1,874,303</b>
△	
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>27,411,138</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>3,400,727</b>
△	
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>46,571,801</b>
(配当等相当額)	( 29,932,519)
(売買損益相当額)	( 16,639,282)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>70,582,212</b>
<b>次期繰越損益金(G)</b>	<b>70,582,212</b>
追加信託差損益金	46,571,801
(配当等相当額)	( 29,932,519)
(売買損益相当額)	( 16,639,282)
分配準備積立金	24,010,411

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	583円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	4,514,623
(c) 収益調整金	46,571,801
(d) 分配準備積立金	19,495,205
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	70,582,212
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	70,582,212
(h) 受益権総口数	78,917,738口

# メディカルデバイス・マザーファンド 運用報告書 第6期 (決算日 2024年10月18日)

(作成対象期間 2023年10月19日～2024年10月18日)

メディカルデバイス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みません。）の株式（DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

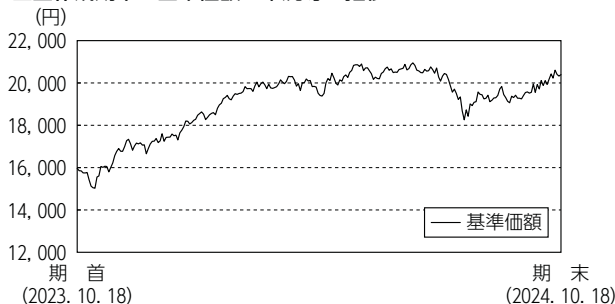
## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率		
(期 首) 2023年10月18日	15,959	—	98.8	—
10月末	15,024	△ 5.9	98.1	—
11月末	17,020	△ 6.6	99.2	—
12月末	17,536	9.9	99.7	—
2024年1月末	18,599	16.5	99.6	—
2月末	19,733	23.6	99.6	—
3月末	20,296	27.2	99.4	—
4月末	20,461	28.2	99.4	—
5月末	20,171	26.4	99.0	—
6月末	20,950	31.3	99.2	—
7月末	19,513	22.3	97.5	—
8月末	19,409	21.6	99.3	—
9月末	19,554	22.5	98.8	—
(期 末) 2024年10月18日	20,394	27.8	99.5	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：15,959円 期末：20,394円 騰落率：27.8%

【基準価額の主な変動要因】

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業に投資をした結果、株式市況が上昇したことや、対円為替相場が上昇（円安）したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、おおむね上昇しました。

世界株式市況は、当作成期首より、欧米のインフレ率が予想以上に低下したことや、F R B（米国連邦準備制度理事会）議長が将来

の利下げについての議論を始めたことを受け、利下げ期待が高まったことなどが好感され、上昇しました。2024年に入ってから、製造業の景況感が改善したことやAI（人工知能）関連企業が良好な決算を発表したことなどが好感され、続伸しました。4月に入ると、インフレ再燃が懸念されて米国の利下げ開始が後ずれするとの見方が強まり、反落しました。4月下旬以降は、インフレ率が低下傾向となり利下げ期待が再び高まったことなどから上昇基調となり、高成長が期待されるAI関連企業の株価急騰が相場をけん引し、高値を更新しました。しかし7月中旬に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに8月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後は、米国の経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆するF R B議長の発言などを好感して株価は急反発し、9月中旬にF R Bが0.50ポイントの利下げを決定したことなども好感され、上昇して当作成期末を迎えました。

○為替相場

対円為替相場は上昇しました。

投資対象通貨の対円為替相場は、当作成期首より、米国金利の上昇を背景に緩やかな円安基調となりましたが、2023年11月以降は、日銀による政策修正や米国金利の大幅な低下を受け、下落（円高）しました。2024年に入ってから、米国金利の上昇や日銀による金融政策の維持などを背景に円安に転じ、2月に入っても、日銀の副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する見通しと発言したことなどから、円安基調となりました。その後も、日銀がマイナス金利の解除など大規模な金融緩和の終了を発表したものの、他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しなどから、円安基調が継続しました。7月以降は、日銀が金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどから大幅な円高に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調が継続しました。9月半ば以降は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げのペースがゆっくりしたものになるとの見方から、投資対象通貨は対円では上昇し、当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、BOSTON SCIENTIFIC CORP（米国）、DANAHER CORP（米国）、INTUITIVE SURGICAL INC（米国）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

## メディカルデバイス・マザーファンド

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	8円 (8)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	51 (50) (1)
合 計	59

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### 株 式

(2023年10月19日から2024年10月18日まで)

	買 付		売 付		
	株 数	金 額	株 数	金 額	
国内	千株 0.4 (0.8)	千円 1,084 (—)	千株 0.1	千円 457	
外 国	アメリカ	百株 16.94 (—)	千アメリカ・ドル 226 (—)	百株 34.5	千アメリカ・ドル 404
	スイス	百株 0.76 (—)	千スイス・フラン 20 (△0)	百株 3	千スイス・フラン 36
	中国	百株 — (—)	千オフショア・人民元 — (—)	百株 4	千オフショア・人民元 104
	ユーロ (ドイツ)	百株 0.8 (—)	千ユーロ 3 (—)	百株 1.05	千ユーロ 5

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 株 式

(2023年10月19日から2024年10月18日まで)

銘 柄	当 期			買 付			売 付		
	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価	株 数	金 額	平均単価
MEDTRONIC PLC (アイルランド)	千株 0.501	千円 6,169	円 12,313	千株 0.556	千円 7,473	円 13,442	千株 0.029	千円 5,929	円 204,469
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL (アメリカ)	0.029	5,929	204,469	0.066	7,342	11,124	0.076	3,625	47,706
SONOVA HOLDING AG-REG (スイス)	0.076	3,625	47,706	0.67	7,027	10,489	0.138	3,358	24,334
RESMED INC (アメリカ)	0.138	3,358	24,334	0.3	6,192	20,642	0.283	3,342	11,812
GE HEALTHCARE TECHNOLOGIES (アメリカ)	0.283	3,342	11,812	0.153	5,211	34,060	0.238	3,340	14,034
EDWARDS LIFESCIENCES CORP (アメリカ)	0.238	3,340	14,034	0.049	3,917	79,940	0.106	2,704	25,516
INSULET CORP (アメリカ)	0.106	2,704	25,516	0.079	3,681	46,594	0.135	1,997	14,799
ABBOTT LABORATORIES (アメリカ)	0.135	1,997	14,799	0.376	3,672	9,767	0.049	1,693	34,568
DANAHER CORP (アメリカ)	0.049	1,693	34,568	0.294	3,227	10,977	0.02	1,647	82,361
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC (アメリカ)	0.02	1,647	82,361	0.111	3,048	27,461			

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内株式

銘柄	期首	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
精密機器 (100.0%)	千株	千株	千円	
テルモ	0.9	2	5,873	ヘルスケア
合計	株数、金額 銘柄数<比率>	千株 0.9 1銘柄	千円 2 1銘柄	千円 5,873 <3.9%>

(注1) 銘柄欄の( )内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国株式

銘柄	期首	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
(アメリカ)	百株	百株	千円	
ABBOTT LABORATORIES	6.1	6.25	73	ヘルスケア
DANAHER CORP	3.8	3.5	95	ヘルスケア
BECTON DICKINSON AND CO	1.95	0.42	10	ヘルスケア
DEXCOM INC	5.61	1.15	7	ヘルスケア
ALIGN TECHNOLOGY INC	0.99	—	—	ヘルスケア
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	4	2.62	17	ヘルスケア
AGILENT TECHNOLOGIES INC	2.5	2.14	29	ヘルスケア
INSULET CORP	1.45	1.4	32	ヘルスケア
HOLOGIC INC	6.6	—	—	ヘルスケア
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL	—	0.25	34	ヘルスケア
STRYKER CORP	3.31	2.52	90	ヘルスケア
RESMED INC	0.96	2.24	53	ヘルスケア
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1.85	1.56	93	ヘルスケア
GE HEALTHCARE TECHNOLOGIES	5.81	5.7	51	ヘルスケア
INTUITIVE SURGICAL INC	2.41	2	94	ヘルスケア
MEDTRONIC PLC	—	5.01	44	ヘルスケア
IDEXX LABORATORIES INC	1.18	0.9	41	ヘルスケア
BOSTON SCIENTIFIC CORP	18	11.3	97	ヘルスケア
アメリカ・ドル	株数、金額	株数、金額	株数、金額	
通貨計	16銘柄	16銘柄	868	<87.5%>
(スイス)	百株	百株	千円	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	3	—	—	ヘルスケア
SONOVA HOLDING AG-REG	—	0.76	24	ヘルスケア
スイス・フラン	株数、金額	株数、金額	株数、金額	
通貨計	1銘柄	1銘柄	24	<2.9%>

銘柄	期首	当期末		業種等
	株数	株数	評価額	
(中国)	百株	百株	千円	
SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDICA	8	4	102	ヘルスケア
オフショア・人民元	株数、金額	株数、金額	株数、金額	
通貨計	1銘柄	1銘柄	102	<1.4%>
ユーロ(ドイツ)	百株	百株	千円	
SIEMENS HEALTHINEERS AG	6.9	6.65	34	ヘルスケア
ユーロ	株数、金額	株数、金額	株数、金額	
通貨計	1銘柄	1銘柄	34	<3.8%>
ファンド	株数、金額	株数、金額	株数、金額	
合計	19銘柄	19銘柄	142,478	<95.5%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年10月18日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 148,351	% 99.5
コール・ローン等、その他	804	0.5
投資信託財産総額	149,156	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=150.13円、1オーストラリア・ドル=100.56円、1イギリス・ポンド=195.39円、1スイス・フラン=173.28円、1スウェーデン・クローネ=14.24円、1オフショア・人民元=21.033円、1ユーロ=162.61円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(142,811千円)の投資信託財産総額(149,156千円)に対する比率は、95.7%です。

## メディカルデバイス・マザーファンド

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年10月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>149,156,885円</b>
コール・ローン等	685,698
株式（評価額）	148,351,910
未取配当金	119,277
<b>(B) 負債</b>	<b>—</b>
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>149,156,885</b>
元本	73,136,680
次期繰越損益金	76,020,205
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>73,136,680口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	20,394円

\* 期首における元本額は90,137,615円、当作成期間中における追加設定元本額は7,921,694円、同解約元本額は24,922,629円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

iFreeActive メディカルデバイス 73,136,680円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は20,394円です。

### ■損益の状況

当期 自2023年10月19日 至2024年10月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>916,966円</b>
受取配当金	866,799
受取利息	50,167
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>37,596,368</b>
売買益	42,276,468
売買損	△ 4,680,100
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 409,776</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>38,103,558</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>53,715,712</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 23,277,371</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>7,478,306</b>
<b>(H) 合計（D＋E＋F＋G）</b>	<b>76,020,205</b>
次期繰越損益金（H）	76,020,205

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。